

【越前和紙エリア】
ECHIZEN WASHI AREA

MAP&CONTENTS ICON
MAP ①バス停 ②採用 P 無料駐車場
CONTENTS ③工房見学 ④販売 ⑤フード ⑥ワークショップ

MAP B

信洋舎製紙所 12日-14日
1886年の大きな工場で和紙の名刺やハガキを製造しています。近年ではインクジェットの印刷に適したフォト和紙、一枚漉きの名刺にキラを施したキラ刷り名刺を開発。活版印刷機も去年購入し現在稼働中です。
⑨9:00-16:00
0778-42-0021・越前市新在家町2-13

パピルス館 12日-14日
世界中でたった一枚、名刺から和紙の灯りまであなただけの和紙作りができます。併設する「和紙処えぜん」は産地組合の直売店です。書画用紙はもちろん、しおり・和紙のバッグも購入し現在稼働中です。
⑨9:00-16:00
0778-42-1363・越前市新在家町9-44

卯立の工芸館 12日-14日
江戸時代の紙漉き家屋を移築復元した工芸館です。伝統工芸士が昔ながらの道具を使って和紙を漉く様子などを見学できる全国でも唯一の場所です。また、伝統工芸士の指導の下、本格的な紙漉き体験ができます。
⑨9:30-16:00(入館料有)
0778-43-7800・越前市新在家町9-21

清水和紙株式会社 12日-14日
様々な種類の越前和紙を取り揃えている産地問屋です。和紙の美しさから越前和紙の技法や可能性を知ってもらえるように、RENEWでは数多くの和紙に触れられる機会を提供します。
⑨9:00-12:00 / 13:00-17:00
0778-43-1623・越前市新在家町10-2

紙の文化博物館 12日-14日
特別展において、越前和紙の長い歴史を物語る古紙・道具などを展示し、常設展で発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、産地を代表する和紙約120点、その他和紙作品なども展示しています。
⑨9:30-17:00(入館料有)
0778-42-0016・越前市新在家町11-12

越前本部案内所 紙の文化博物館
・千年末来工芸祭特設ブース
・紙の文化博物館「大ふすま展」(11日-14日)
・西野家住宅特別公開受付
⑨9 紙の文化博物館

和紙の里案内所 旧和紙工業組合跡地
・和紙エリア RENEW STORE
・和紙の里輸出パネル写真ラリー受付
・和紙の落書きコーナー

山岸和紙店 12日-14日
襦紙や壁紙などの内装材をはじめ、書道・絵画用紙、印刷用紙、ラッピング用紙など、様々な越前和紙の卸販売をしています。越前和紙の産地問屋として、豊富な経験と知識でお客様に合った和紙をご提案致します。
⑨9:00-17:00
0778-43-0308・越前市定友町23-7-1

カフェ c'est la vie 12日-13日
越前市内でカフェをしております。柳瀬良三製紙所前にて軽食+具だくさんスープやオーガニック素材にこだわった焼き菓子を提供いたします。ぜひ、お越しください。
⑩10:00-16:00
0778-23-4547・越前市上太田町29-7-1

フレッシュプラザしゅうさん 12日-14日
赤い鳥居の横で、朝は出勤お見送り。近所のおばちゃん語りだしたら止まらない。営業マンが一息つく。会社帰りのおやしが集まり戸声会議。今日も一日お疲れ様。第二の我が家として地域に根付いていきたいお店です。
⑩9:00-18:00
0778-42-1357・越前市若本町12-11-2

B09 五十嵐製紙 12日-14日
創業100周年を迎える越前和紙製造メーカー。壁紙・襦紙・小間紙・創作和紙・小物アーティストにも好評。厚さや模様・色など多種多様な和紙を漉いています。
⑨9:00-17:00
0778-43-0267・越前市若本町12-14

B10 滝製紙所 12日-14日
越前和紙の大紙を製造しています。手漉きでは各種襦紙の他、全国唯一の横判襦紙を製紙。機械漉きでは鳥の子をはじめ、色物から手漉きの技を活かした襦紙、美術小間紙を漉いています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 14日9:00-13:00
0778-43-0332・越前市大滝町27-30

B11 長田製紙所 12日-14日
福井県越前市大滝町にある、紙漉き工場です。手漉きの襦紙の老舗として、様々なデザインの襦紙を手がけてきました。現在では、襦紙の柄付けの技術「飛龍」を応用し、インテリア和紙の制作を行っています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 13日-14日8:00-17:00
0778-42-0051・越前市大滝町29-39

B12 やなせ和紙 12日-14日
本鳥の子紙などの無地の襦紙や、雲仙などの模様のある襦紙を主に漉いています。また、障子紙や壁紙、和紙を用いた小物も製作しています。「皆様の暮らしの中に和紙がある」それを旨とし、今後も精進して参ります。
⑩9:00-12:00 / 13:00-16:00
0778-43-0639・越前市大滝町24-21

B13 山次製紙所 12日-14日
越前和紙の手漉き美術小間紙の製紙所。1950年ごろより「引」掛け、「漉き合わせ」、「流し込み」等の模様小間紙を製造しています。柄模様が特徴的な和紙に加え、特殊模様紙や連続紙も生産できるようになりました。
⑩12-13日9:00-12:00 / 13:00-17:00 14日9:00-16:00
0778-42-0553・越前市大滝町29-5

B14 山岸和紙店 12日-14日
襦紙や壁紙などの内装材をはじめ、書道・絵画用紙、印刷用紙、ラッピング用紙など、様々な越前和紙の卸販売をしています。越前和紙の産地問屋として、豊富な経験と知識でお客様に合った和紙をご提案致します。
⑨9:00-17:00
0778-43-0308・越前市定友町23-7-1

Ba Cafe c'est la vie 12日-13日
越前市内でカフェをしております。柳瀬良三製紙所前にて軽食+具だくさんスープやオーガニック素材にこだわった焼き菓子を提供いたします。ぜひ、お越しください。
⑩10:00-16:00
0778-23-4547・越前市上太田町29-7-1

Bb フレッシュプラザしゅうさん 12日-14日
赤い鳥居の横で、朝は出勤お見送り。近所のおばちゃん語りだしたら止まらない。営業マンが一息つく。会社帰りのおやしが集まり戸声会議。今日も一日お疲れ様。第二の我が家として地域に根付いていきたいお店です。
⑩9:00-18:00
0778-42-1357・越前市若本町12-11-2

紙の文化博物館「大ふすま展」
越前市今立五箇にある5つの工房の手漉き和紙で立立てたふすまで、ふすま紙の美を紹介。実際のふすまを開け閉めできる、体験型の展示会です。期間中は、越前市のイラストレーターAi Mikiによるふすまライブペインティング(12-13日)や東京大学の老舗サークル「東大横クラフ」によるふすまの張替えイベント(12-14日)やワークショップ(13日)、ふすまワークショップ「越前和紙のまち今立・五箇を歩く(12日)」など、関連イベントが目白押し。詳細は「大ふすま展」を検索。
日時・9月6日(金)-11月11日(月)9:30-17:00(入館16:30まで)
場所・紙の文化博物館 越前市新在家町11-12
料金・大人300円、高校生以下無料
主催・越前市 協力・一般社団法人日本襦紙協会

西野家住宅特別公開
この地域特有の「妻入卯建」を残した国の登録有形文化財「西野家住宅」を特別公開。6棟の蔵や中庭・隠れ・茶室が残る、豪華な住宅です。西野家住宅では現在、物件の活用希望者を募集。蔵は「今立現代美術展」の会場として、Thomas Colletのインスタレーション作品が展示される予定です。
日時・10月13日 14:00-15:00-
場所・越前市定友町4-8-1(現地集合)
申込・10月12日10:00・越前本部案内所にて受付(各回先着30名)

B01 信洋舎製紙所 12日-14日
1886年の大きな工場で和紙の名刺やハガキを製造しています。近年ではインクジェットの印刷に適したフォト和紙、一枚漉きの名刺にキラを施したキラ刷り名刺を開発。活版印刷機も去年購入し現在稼働中です。
⑨9:00-16:00
0778-42-0021・越前市定友町2-13

B02 パピルス館 12日-14日
世界中でたった一枚、名刺から和紙の灯りまであなただけの和紙作りができます。併設する「和紙処えぜん」は産地組合の直売店です。書画用紙はもちろん、しおり・和紙のバッグも購入し現在稼働中です。
⑨9:00-16:00
0778-42-1363・越前市新在家町9-44

B03 卯立の工芸館 12日-14日
江戸時代の紙漉き家屋を移築復元した工芸館です。伝統工芸士が昔ながらの道具を使って和紙を漉く様子などを見学できる全国でも唯一の場所です。また、伝統工芸士の指導の下、本格的な紙漉き体験ができます。
⑨9:30-16:00(入館料有)
0778-43-7800・越前市新在家町9-21

B04 清水和紙株式会社 12日-14日
様々な種類の越前和紙を取り揃えている産地問屋です。和紙の美しさから越前和紙の技法や可能性を知ってもらえるように、RENEWでは数多くの和紙に触れられる機会を提供します。
⑨9:00-12:00 / 13:00-17:00
0778-43-1623・越前市新在家町10-2

B05 紙の文化博物館 12日-14日
特別展において、越前和紙の長い歴史を物語る古紙・道具などを展示し、常設展で発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、産地を代表する和紙約120点、その他和紙作品なども展示しています。
⑨9:30-17:00(入館料有)
0778-42-0016・越前市新在家町11-12

B06 滝製紙所 12日
越前和紙の大紙を製造しています。手漉きでは各種襦紙の他、全国唯一の横判襦紙を製紙。機械漉きでは鳥の子をはじめ、色物から手漉きの技を活かした襦紙、美術小間紙を漉いています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 14日9:00-13:00
0778-43-0332・越前市大滝町27-30

B07 杉原商店 12日-14日
柳の葉がわたる高い天井空間で、透かし模様の巨大なタペストリをご覧いただけます。まるでレースの布と見紛う繊細さ。越前の紙漉き職人の技術力の高さをご覧になれます。月に一度の営業日を、特別に開放します。
⑨9:00-17:00
0778-42-0032・越前市不老町17-2

B08 RYOZO(柳瀬良三製紙所) 12日-14日
薄紙漉紙、金型を使った柄出し落水紙、和菓子パッケージ関連和紙等を製作。手漉き和紙、薄紙漉紙、落水紙、金型落水紙が得意。大学や高校の実習も積極的に受け入れており、和紙の魅力を伝えています。
⑩8:00-16:00
0778-42-1155・越前市大滝町10-1

B09 五十嵐製紙 12日-14日
創業100周年を迎える越前和紙製造メーカー。壁紙・襦紙・小間紙・創作和紙・小物アーティストにも好評。厚さや模様・色など多種多様な和紙を漉いています。
⑨9:00-17:00
0778-43-0267・越前市若本町12-14

B10 滝製紙所 12日-14日
越前和紙の大紙を製造しています。手漉きでは各種襦紙の他、全国唯一の横判襦紙を製紙。機械漉きでは鳥の子をはじめ、色物から手漉きの技を活かした襦紙、美術小間紙を漉いています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 14日9:00-13:00
0778-43-0332・越前市大滝町27-30

B11 長田製紙所 12日-14日
福井県越前市大滝町にある、紙漉き工場です。手漉きの襦紙の老舗として、様々なデザインの襦紙を手がけてきました。現在では、襦紙の柄付けの技術「飛龍」を応用し、インテリア和紙の制作を行っています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 13日-14日8:00-17:00
0778-42-0051・越前市大滝町29-39

B12 やなせ和紙 12日-14日
本鳥の子紙などの無地の襦紙や、雲仙などの模様のある襦紙を主に漉いています。また、障子紙や壁紙、和紙を用いた小物も製作しています。「皆様の暮らしの中に和紙がある」それを旨とし、今後も精進して参ります。
⑩9:00-12:00 / 13:00-16:00
0778-43-0639・越前市大滝町24-21

B13 山次製紙所 12日-14日
越前和紙の手漉き美術小間紙の製紙所。1950年ごろより「引」掛け、「漉き合わせ」、「流し込み」等の模様小間紙を製造しています。柄模様が特徴的な和紙に加え、特殊模様紙や連続紙も生産できるようになりました。
⑩12-13日9:00-12:00 / 13:00-17:00 14日9:00-16:00
0778-42-0553・越前市大滝町29-5

越前本部案内所
今年紙の文化博物館に、越前本部案内所が登場!案内所には、先日開催された人気を博した千年末来工芸祭の特設ブースが出現。越前市の伝統工芸や千年末来工芸祭を紹介するほか、千年末来工芸祭ロゴのシルクスクリーン体験ができます。トートバッグなどのRENEWグッズを持ち込んで、ダブルネームを完成させよう!
日時・10月12日-14日 10:00-16:00
場所・紙の文化博物館 越前市新在家町11-12

和紙の里案内所
和紙の工房が群を連ねる和紙の里エリアの入口・旧和紙工業組合跡地に、和紙の里案内所ができました。和紙をよく知る山岸和紙店が常務を務め、各出店者の和紙を集めた和紙エリア RENEW STOREが運営されています。和紙の落書きコーナーや輸出パネル写真ラリーも実施中!
日時・10月12日-14日 9:30-16:00
場所・和紙の里案内所(旧和紙工業組合跡地) 越前市大滝町11-11

紙の文化博物館「大ふすま展」
越前市今立五箇にある5つの工房の手漉き和紙で立立てたふすまで、ふすま紙の美を紹介。実際のふすまを開け閉めできる、体験型の展示会です。期間中は、越前市のイラストレーターAi Mikiによるふすまライブペインティング(12-13日)や東京大学の老舗サークル「東大横クラフ」によるふすまの張替えイベント(12-14日)やワークショップ(13日)、ふすまワークショップ「越前和紙のまち今立・五箇を歩く(12日)」など、関連イベントが目白押し。詳細は「大ふすま展」を検索。
日時・9月6日(金)-11月11日(月)9:30-17:00(入館16:30まで)
場所・紙の文化博物館 越前市新在家町11-12
料金・大人300円、高校生以下無料
主催・越前市 協力・一般社団法人日本襦紙協会

西野家住宅特別公開
この地域特有の「妻入卯建」を残した国の登録有形文化財「西野家住宅」を特別公開。6棟の蔵や中庭・隠れ・茶室が残る、豪華な住宅です。西野家住宅では現在、物件の活用希望者を募集。蔵は「今立現代美術展」の会場として、Thomas Colletのインスタレーション作品が展示される予定です。
日時・10月13日 14:00-15:00-
場所・越前市定友町4-8-1(現地集合)
申込・10月12日10:00・越前本部案内所にて受付(各回先着30名)

【越前打刃物エリア】 ECHIZEN KNIFE AREA

MAP C

信洋舎製紙所 12日-14日
1886年の大きな工場で和紙の名刺やハガキを製造しています。近年ではインクジェットの印刷に適したフォト和紙、一枚漉きの名刺にキラを施したキラ刷り名刺を開発。活版印刷機も去年購入し現在稼働中です。
⑨9:00-16:00
0778-42-0021・越前市定友町2-13

パピルス館 12日-14日
世界中でたった一枚、名刺から和紙の灯りまであなただけの和紙作りができます。併設する「和紙処えぜん」は産地組合の直売店です。書画用紙はもちろん、しおり・和紙のバッグも購入し現在稼働中です。
⑨9:00-16:00
0778-42-1363・越前市新在家町9-44

卯立の工芸館 12日-14日
江戸時代の紙漉き家屋を移築復元した工芸館です。伝統工芸士が昔ながらの道具を使って和紙を漉く様子などを見学できる全国でも唯一の場所です。また、伝統工芸士の指導の下、本格的な紙漉き体験ができます。
⑨9:30-16:00(入館料有)
0778-43-7800・越前市新在家町9-21

清水和紙株式会社 12日-14日
様々な種類の越前和紙を取り揃えている産地問屋です。和紙の美しさから越前和紙の技法や可能性を知ってもらえるように、RENEWでは数多くの和紙に触れられる機会を提供します。
⑨9:00-12:00 / 13:00-17:00
0778-43-1623・越前市新在家町10-2

紙の文化博物館 12日-14日
特別展において、越前和紙の長い歴史を物語る古紙・道具などを展示し、常設展で発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、産地を代表する和紙約120点、その他和紙作品なども展示しています。
⑨9:30-17:00(入館料有)
0778-42-0016・越前市新在家町11-12

越前本部案内所 紙の文化博物館
・千年末来工芸祭特設ブース
・紙の文化博物館「大ふすま展」(11日-14日)
・西野家住宅特別公開受付
⑨9 紙の文化博物館

和紙の里案内所 旧和紙工業組合跡地
・和紙エリア RENEW STORE
・和紙の里輸出パネル写真ラリー受付
・和紙の落書きコーナー

山岸和紙店 12日-14日
襦紙や壁紙などの内装材をはじめ、書道・絵画用紙、印刷用紙、ラッピング用紙など、様々な越前和紙の卸販売をしています。越前和紙の産地問屋として、豊富な経験と知識でお客様に合った和紙をご提案致します。
⑨9:00-17:00
0778-43-0308・越前市定友町23-7-1

カフェ c'est la vie 12日-13日
越前市内でカフェをしております。柳瀬良三製紙所前にて軽食+具だくさんスープやオーガニック素材にこだわった焼き菓子を提供いたします。ぜひ、お越しください。
⑩10:00-16:00
0778-23-4547・越前市上太田町29-7-1

フレッシュプラザしゅうさん 12日-14日
赤い鳥居の横で、朝は出勤お見送り。近所のおばちゃん語りだしたら止まらない。営業マンが一息つく。会社帰りのおやしが集まり戸声会議。今日も一日お疲れ様。第二の我が家として地域に根付いていきたいお店です。
⑩9:00-18:00
0778-42-1357・越前市若本町12-11-2

【越前打刃物エリア】
ECHIZEN KNIFE AREA

【越前軍筒エリア】
ECHIZEN CHEST AREA

【越前焼エリア】
ECHIZEN POTTERY AREA

MAP&CONTENTS ICON
MAP ①バス停 ②採用 P 無料駐車場
CONTENTS ③工房見学 ④販売 ⑤フード ⑥ワークショップ

MAP D

指物屋上坂 12日-14日
明治20年創業の木工房。現在では籠篋の金具の制作、塗装や木工房でおこない、伝統的な木組みの技法を用いて、越前籠篋をはじめ、小物から一枚板のテーブル、建具、茶道具などの制作と修理をしています。
⑩9:00-11:30 / 13:30-17:00
0778-22-1769・越前市平和町1-29

龍泉刃物 12日-14日
越前打刃物の伝統の技術を用いた打刃物メーカー。カトリーやステーションナーなどの新分野にも挑戦し、刃物の可能性を広げます。越前に誇れるものづくりを継承しながら信頼と実績のブランドを目指しています。
⑩9:00-17:00
0778-23-3552・越前市池ノ上町49-1-5

a.café 12日-14日
a.companyが手掛ける「a.café」。ブランド axes femme の世界観のカフェには福井のこだわりの商品も販売する「a.department store」リアルストアも併設しています。
⑩10:00-17:00
0778-42-7275・越前市府中1-12-18

刃物の里 TATARAに来たら? 12日
特別展において、越前和紙の長い歴史を物語る古紙・道具などを展示し、常設展で発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、産地を代表する和紙約120点、その他和紙作品なども展示しています。
⑩9:30-17:00(入館料有)
0778-42-0016・越前市新在家町11-12

滝製紙所 12日
越前和紙の大紙を製造しています。手漉きでは各種襦紙の他、全国唯一の横判襦紙を製紙。機械漉きでは鳥の子をはじめ、色物から手漉きの技を活かした襦紙、美術小間紙を漉いています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 14日9:00-13:00
0778-43-0332・越前市大滝町27-30

山次製紙所 12日-14日
越前和紙の手漉き美術小間紙の製紙所。1950年ごろより「引」掛け、「漉き合わせ」、「流し込み」等の模様小間紙を製造しています。柄模様が特徴的な和紙に加え、特殊模様紙や連続紙も生産できるようになりました。
⑩12-13日9:00-12:00 / 13:00-17:00 14日9:00-16:00
0778-42-0553・越前市大滝町29-5

【眼鏡エリア】 EYE-WEAR PRODUCTION AREA

【繊維エリア】 TEXTILE INDUSTRY AREA

MAP E

KISSO 12日-14日
あそこに行けば面白い何か、新しい何か、ユニークな何かが見つかる。「世界にひとつ」が見つかるアクセサリブランド「KISSO」。色鮮やかでかわくわくするアクセサリを展開しています。
⑩10:00-12:00 / 13:00-17:00
0778-54-0355・鯖江市丸山町4-305-2

西村プレジジョン 12日-14日
うまい老眼鏡ペーパーグラスでグッドデザイン賞を受賞。今春よりサンクスブランドもスタートしました。スマートに持ち運べるめがねの新しいスタイルを提案しています。
⑩10:00-17:00
0778-51-0127・鯖江市丸山町3-5-18

サカエマーク 12日-14日
福井県鯖江市にある特殊印刷を得意とする印刷会社です。デザインから印刷、加工まで「自社内一貫生産」を確立しており、スピードも「贈りものルーペ」など、身近な商品を企画・製造販売しております。
⑩10:00-12:00 / 13:00-16:00
0778-52-2500・鯖江市丸山町4-1-15

乾レンズ 12日-14日
サンクスを通じ、大切な眼を紫外線等から守る企業です。1953年の創業からレンズ一筋。現在は自社ブランド「オールタイムサンクス」「贈りものルーペ」など、身近な商品を企画・製造販売しております。
⑩8:30-12:00 / 13:00-17:00
0778-51-5447・鯖江市丸山町1-3-31

Eエリア案内所 BOSTON CLUB 12日-14日
創業当時が大手アパレルメーカー、眼鏡商社のODMを中心に有。その経験と、世界的な眼鏡産地である鯖江市の生産技術を活かして初めてわかる良さがあります。WSや、小売も対応します(現金のみ)。
⑩10:00-12:00 / 13:00-16:00
0778-52-6338・鯖江市丸山町1-1-21

見梅(梅忠商店) 12日-14日
眼鏡製造に関わる商品を扱っています。眼鏡用の精密ドライバーやセル素材専用のセラーリ等、職人さんに育てられた逸品工具は、手に取って初めてわかる良さがあります。WSや、小売も対応します(現金のみ)。
⑩10:00-19:00
0778-52-0890・鯖江市三六町1-4-30

BOSTON CLUB 12日-14日
創業当時が大手アパレルメーカー、眼鏡商社のODMを中心に有。その経験と、世界的な眼鏡産地である鯖江市の生産技術を活かして初めてわかる良さがあります。WSや、小売も対応します(現金のみ)。
⑩10:00-19:00
0778-52-0890・鯖江市三六町1-4-30

めがねミュージアム 12日-14日
ストラップや眼鏡フレーム作りを体験できる体験工房、眼鏡の歴史をより深く知ることが出来るかも博物館などがあり、眼鏡を見て、触れて、体験できます。また、めがねショップにて購入もできます。
⑩10:00-19:00
0778-42-8311・鯖江市新橋2-3-4めがね会館内

RENEW TIPS 産地の豆知識

E01 KISSO 12日-14日
あそこに行けば面白い何か、新しい何か、ユニークな何かが見つかる。「世界にひとつ」が見つかるアクセサリブランド「KISSO」。色鮮やかでかわくわくするアクセサリを展開しています。
⑩10:00-12:00 / 13:00-17:00
0778-54-0355・鯖江市丸山町4-305-2

E02 西村プレジジョン 12日-14日
うまい老眼鏡ペーパーグラスでグッドデザイン賞を受賞。今春よりサンクスブランドもスタートしました。スマートに持ち運べるめがねの新しいスタイルを提案しています。
⑩10:00-17:00
0778-51-0127・鯖江市丸山町3-5-18

E03 サカエマーク 12日-14日
福井県鯖江市にある特殊印刷を得意とする印刷会社です。デザインから印刷、加工まで「自社内一貫生産」を確立しており、スピードも「贈りものルーペ」など、身近な商品を企画・製造販売しております。
⑩10:00-12:00 / 13:00-16:00
0778-52-2500・鯖江市丸山町4-1-15

E04 乾レンズ 12日-14日
サンクスを通じ、大切な眼を紫外線等から守る企業です。1953年の創業からレンズ一筋。現在は自社ブランド「オールタイムサンクス」「贈りものルーペ」など、身近な商品を企画・製造販売しております。
⑩8:30-12:00 / 13:00-17:00
0778-51-5447・鯖江市丸山町1-3-31

E05 見梅(梅忠商店) 12日-14日
眼鏡製造に関わる商品を扱っています。眼鏡用の精密ドライバーやセル素材専用のセラーリ等、職人さんに育てられた逸品工具は、手に取って初めてわかる良さがあります。WSや、小売も対応します(現金のみ)。
⑩10:00-19:00
0778-52-0890・鯖江市三六町1-4-30

E06 BOSTON CLUB 12日-14日
創業当時が大手アパレルメーカー、眼鏡商社のODMを中心に有。その経験と、世界的な眼鏡産地である鯖江市の生産技術を活かして初めてわかる良さがあります。WSや、小売も対応します(現金のみ)。
⑩10:00-19:00
0778-52-0890・鯖江市三六町1-4-30

E07 PLUSJACK 12日-14日
バッグの企画・製造・加工・販売を行っています。現在は日本生産品、小ロットでのオーダーメイド品対応など、付加価値の高いサービスを拡充していきます。「MOGANA」サイトで、新しい試みにもチャレンジ中です!
⑩9:30-17:30
0778-53-1885・鯖江市御前町1-301-11

E08 エーリンクサービス 12日-13日
バッグの企画・製造・加工・販売を行っています。現在は日本生産品、小ロットでのオーダーメイド品対応など、付加価値の高いサービスを拡充していきます。「MOGANA」サイトで、新しい試みにもチャレンジ中です!
⑩9:00-17:00
0778-42-5008・鯖江市吉谷町16-52-1

E09 めがねミュージアム 12日-14日
ストラップや眼鏡フレーム作りを体験できる体験工房、眼鏡の歴史をより深く知ることが出来るかも博物館などがあり、眼鏡を見て、触れて、体験できます。また、めがねショップにて購入もできます。
⑩10:00-19:00
0778-42-8311・鯖江市新橋2-3-4めがね会館内

RENEW TIPS 産地の豆知識

C01 タケフナイビレッジ 12日-14日
私達は、越前打刃物の伝統を守りながら、工業デザインを導入し時代を先取りした感覚で打刃物に取り組んでいます。現代生活に新しい刃物としての道具観を提示し、インターナショナルブランドに成長しています。
⑩9:00-17:00
0778-27-7120・越前市前川町22-91

RENEW TIPS 産地の豆知識

68 国内製造シェア90%以上を誇る、鯖江の眼鏡フレーム。その技術は1905年、増永五左衛門が農閑期の副業としてもたらしたものです。1983年には、世界で初めてチタン製眼鏡フレームを開発。近年では、精密機器や医療機器の領域でもその技術が活かされています。

E07 PLUSJACK 12日-14日
バッグの企画・製造・加工・販売を行っています。現在は日本生産品、小ロットでのオーダーメイド品対応など、付加価値の高いサービスを拡充していきます。「MOGANA」サイトで、新しい試みにもチャレンジ中です!
⑩9:30-17:30
0778-53-1885・鯖江市御前町1-301-11

E08 エーリンクサービス 12日-13日
バッグの企画・製造・加工・販売を行っています。現在は日本生産品、小ロットでのオーダーメイド品対応など、付加価値の高いサービスを拡充していきます。「MOGANA」サイトで、新しい試みにもチャレンジ中です!
⑩9:00-17:00
0778-42-5008・鯖江市吉谷町16-52-1

E09 めがねミュージアム 12日-14日
ストラップや眼鏡フレーム作りを体験できる体験工房、眼鏡の歴史をより深く知ることが出来るかも博物館などがあり、眼鏡を見て、触れて、体験できます。また、めがねショップにて購入もできます。
⑩10:00-19:00
0778-42-8311・鯖江市新橋2-3-4めがね会館内

MAP F

指物屋上坂 12日-14日
明治20年創業の木工房。現在では籠篋の金具の制作、塗装や木工房でおこない、伝統的な木組みの技法を用いて、越前籠篋をはじめ、小物から一枚板のテーブル、建具、茶道具などの制作と修理をしています。
⑩9:00-11:30 / 13:30-17:00
0778-22-1769・越前市平和町1-29

龍泉刃物 12日-14日
越前打刃物の伝統の技術を用いた打刃物メーカー。カトリーやステーションナーなどの新分野にも挑戦し、刃物の可能性を広げます。越前に誇れるものづくりを継承しながら信頼と実績のブランドを目指しています。
⑩9:00-17:00
0778-23-3552・越前市池ノ上町49-1-5

a.café 12日-14日
a.companyが手掛ける「a.café」。ブランド axes femme の世界観のカフェには福井のこだわりの商品も販売する「a.department store」リアルストアも併設しています。
⑩10:00-17:00
0778-42-7275・越前市府中1-12-18

刃物の里 TATARAに来たら? 12日
特別展において、越前和紙の長い歴史を物語る古紙・道具などを展示し、常設展で発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、産地を代表する和紙約120点、その他和紙作品なども展示しています。
⑩9:30-17:00(入館料有)
0778-42-0016・越前市新在家町11-12

滝製紙所 12日
越前和紙の大紙を製造しています。手漉きでは各種襦紙の他、全国唯一の横判襦紙を製紙。機械漉きでは鳥の子をはじめ、色物から手漉きの技を活かした襦紙、美術小間紙を漉いています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 14日9:00-13:00
0778-43-0332・越前市大滝町27-30

山次製紙所 12日-14日
越前和紙の手漉き美術小間紙の製紙所。1950年ごろより「引」掛け、「漉き合わせ」、「流し込み」等の模様小間紙を製造しています。柄模様が特徴的な和紙に加え、特殊模様紙や連続紙も生産できるようになりました。
⑩12-13日9:00-12:00 / 13:00-17:00 14日9:00-16:00
0778-42-0553・越前市大滝町29-5

MAP G

指物屋上坂 12日-14日
明治20年創業の木工房。現在では籠篋の金具の制作、塗装や木工房でおこない、伝統的な木組みの技法を用いて、越前籠篋をはじめ、小物から一枚板のテーブル、建具、茶道具などの制作と修理をしています。
⑩9:00-11:30 / 13:30-17:00
0778-22-1769・越前市平和町1-29

龍泉刃物 12日-14日
越前打刃物の伝統の技術を用いた打刃物メーカー。カトリーやステーションナーなどの新分野にも挑戦し、刃物の可能性を広げます。越前に誇れるものづくりを継承しながら信頼と実績のブランドを目指しています。
⑩9:00-17:00
0778-23-3552・越前市池ノ上町49-1-5

a.café 12日-14日
a.companyが手掛ける「a.café」。ブランド axes femme の世界観のカフェには福井のこだわりの商品も販売する「a.department store」リアルストアも併設しています。
⑩10:00-17:00
0778-42-7275・越前市府中1-12-18

刃物の里 TATARAに来たら? 12日
特別展において、越前和紙の長い歴史を物語る古紙・道具などを展示し、常設展で発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、産地を代表する和紙約120点、その他和紙作品なども展示しています。
⑩9:30-17:00(入館料有)
0778-42-0016・越前市新在家町11-12

滝製紙所 12日
越前和紙の大紙を製造しています。手漉きでは各種襦紙の他、全国唯一の横判襦紙を製紙。機械漉きでは鳥の子をはじめ、色物から手漉きの技を活かした襦紙、美術小間紙を漉いています。
⑩12日9:00-12:00/13:00-16:00 14日9:00-13:00
0778-43-0332・越前市大滝町27-3

まち／ひと／しごと

Localism Expo Fukui 2019

2019.10.11(金) - 10.14(日) 会場 | うるしの里会館 (福井県鯖江市西袋町40-1-2)
10:00-17:00 (最終日は16:00まで) 入場 | 400円 (高校生以下100円 小学生以下無料)

MARKET & EXHIBITION

全国から個性豊かな商品が集うマーケットと、出展者の活動を総覧できる展示ブースは、普段外側からは見えにくい活動の想いや魅力を深く知ることができるチャンスです。



長野
MUKU

MUKUは、“ちがう視界から、ちがう世界を描き出す”をテーマに、知的障がいのあるアーティストが描くアート作品をボードに落とし込み、社会に提案するブランドです。

宮城
東北スタンダードマーケット

暮らしをあたたくする、東北生まれを本土産に。東北6県の生活に根付いた手仕事品・地場産品と、新たな東北のスタンダードになり得る商品をセレクトしたコンセプトショップです。

東京
生き方見本市

「さあ、生き方の話をしよう」。生き方見本市は、さまざまな領域でチャレンジしている若手プレイヤーをゲストに迎え、これらの「生き方」について考えるトークライブ&交流イベントです。

東京
カキモリ / tokyobike

「たのしく、書く人。」をコンセプトにした文具店の「カキモリ」と、街を楽しむための自転車メーカー「tokyobike」。それぞれ東京の蔵前と谷中という、昔ながらの風情が暮らし、ものづくりの歴史が残る町で店を構えています。

新潟
hickory03travelers

「日常を楽しもう」というコンセプトのもと、懐かしい雰囲気が漂う上古町商店街の元酒屋を活用した空間で、新刷りシルクスクリーンやTシャツ、新潟の土産、日常が楽しくなるような商品をデザイン・制作しています。

長野
yaso

「山と寄り添う暮らし」を届けたいという思いから、長野県でツリーワークを行う木業社とデザイナーのチームで立ち上げたプロジェクトです。生活にすこでも山を感じてもらえる商品をつくっています。

長野
やってこ！シンカイ

長野県長野市・善光寺近くのお店「やってこ！シンカイ」です。全国各地のつくり手の商品を販売したり、イベントを開催したりと人の集まる場の運営を行っています。

岐阜
石徹白洋品店

岐阜県・郡上市最奥の集落「石徹白」に伝わる農作業スポン「たつけ」を復刻・制作販売しています。身の回りの草木花での染め、藍染を行い、版作りを行い、石徹白本店及び、地域外での企画展にて販売しています。

福井
CRAFTWORK Co.

建築の外装の工事を営む傍ら、地域の廃品や古民家の解体などから出くる廃材を集めてストックして販売したり、それらをもつくりの素材として見立てて、作り変える為のレンタル作業場として提供したりしています。(11日-13日)

福井
HOSHIDO

福井の小さなまちで、本を作る小さな本屋です。本づくりを通して、ひとと地域の有機的な展開を目指します。今回は5月に第一弾出版となった書籍「はしはうたう」を制作したチームで、小浜と若狭塗管をめぐるあれこれをご紹介します。

兵庫
TRUNK DESIGN

神戸の小さな海辺の町、垂水を拠点に、兵庫を中心とした地域に根づく伝統地場産業や技術に、新たな視点から光をあて、魅力を再編集し、必要としている人たちの手元に幸せな形で届けるしくみをデザインしています。

岡山
EVERY DENIM

「EVERY DENIM (エブリデニム)」は、共同代表・山脇理平 (26) と島田舜介 (24) の兄弟が2015年に設立。瀬戸内地域のデニム工場と連携し、オリジナル製品の企画販売を中心に活動しています。

広島
BINGO DESIGN SALON

備後デザインサロンは活動10年を迎えます。「作り手」「デザイナー」「売り手」達が共に学び、出会う場づくりを中心に、「何か面白い事」をやりたい人達が一緒に考え、新しいモットーにチャレンジしています。

鳥取
うかぶ LLC

「たみ」、「Y Pub&Hostel」の2つのゲストハウスの運営をベースに、グラフィックデザインや、大学と協働したアートプロジェクトの企画およびマネジメントなどを鳥取を中心に活動を行っています。

徳島
うだつ上がる

「うだつ」が残る徳島県美馬市脇町。この町で私たちは古民家を改装し、多様な生き方を営む人々が、スクラップしながら豊かな暮らしの風景をつくる複合施設「うだつ上がる」の立ち上げを進めています。

熊本
Factelier (ファクトリエ)

ファクトリエは、メイドインジャパンのファッションブランドです。日本各地にある世界に誇れる技術を持った工場と直接連携し、こだわりの詰まった、語れるものだけを販売しています。(12日・13日)

鹿児島
Lanka

はじめて、RENEW。福井と鹿児島島の距離は約1,100キロ。Lankaは糸を意味するフィンランド語です。Kiitosはありがとうをこめて雑貨・チョコレート福井に紡ぎます。

地域の生き様に気づく4日間

RENEWの特別企画「まち／ひと／しごと -Localism Expo Fukui-」は、全国の社会的意義の高い活動を紹介するショップ型の博覧会です。2回目の開催となる今年も「暮らし・食・教育・福祉・ものづくり・コミュニティ」といったキーワードで、全国から全17の多様なプレイヤーが集まる。会場内で展示・販売・トーク・ワークショップを繰り広げます。当事者から直に想いやストーリーを聞くことで、これからの地域や暮らしのあり方のヒントを見つけてください。

TALK EVENT

期間中合わせて10のトークイベントを開催！地域やデザイン、社会課題の解決など、多様なテーマで豪華トークが繰り広げられます。

※参加費 1トークにつき500円

登壇者の詳細なプロフィールについては、「まち／ひと／しごと」WEBサイトをご覧ください。

TALK 01 TokyoLocal

TALK 02 地域とデザイン

TALK 03 地域でやってこ！

TALK 04 福祉とものづくりの可能性

TALK 05 台湾の漆文化

12日(土) 10:30-12:00
@うるしの里会館・和室
広瀬 琢磨 (株式会社ほたか / カキモリ)
金井 一郎 (トキョーバイク)

蔵前と谷中。東京の東側、個性あるそれぞれの「ローカル」に根ざし、エリア全体の魅力に目線を広げながら活動に取り組むカキモリとトキョーバイク。それぞれのまちで今起きていること、お二人がこれから起こそうとしているうねりについて、耳を傾けるトークです。

12日(土) 12:15-13:45
@うるしの里会館・和室
追 一成 (hickory03travelers)
三宅 航太郎 (うかぶ LLC)

ゲストハウス「たみ」などを運営する鳥取・うかぶLLCと、新潟市上古町商店街で店舗を運営しながら、まちを楽しむ活動を続けるhickory03travelers。デザイナーでありながら、ローカルを舞台に枠組みを越境する二人と、ローカルとデザインの可能性を深堀りします。

12日(土) 14:00-15:30
@うるしの里会館・和室
ナカノヒトミ (やってこ！シンカイ 店長 / Huuuu Inc.)

長野市善光寺のすぐ近くにある店舗「やってこ！シンカイ」。関係性の高い雑貨などを取り扱いながら、地域のおいちゃんやおばあちゃん、学生、移住者などが行き交う場が生まれています。そんなシンカイの営みを聞きながら、場の作り方やローカルのこれかについて考えます。

12日(土) 15:45-17:15
@うるしの里会館・和室
丹野 晋太郎 / 福澤 佳乃子 (ヘラルゴニー)
大山 真司 (特定非営利活動法人 Lanka)

“異彩を、放て。”を掲げ、ブランド「MUKU」を手掛ける若手福祉実践ユニット・ヘラルゴニーと、鹿児島でコレクト「Kitos」を手掛ける鹿児島就労支援型事業所・Lanka。福祉を拡張しながらクリエイティブな活動を続ける両者が集い、福祉の可能性を問い直します。

13日(日) 10:30-12:00
@うるしの里会館・和室
賴 信佑 (光山行3代目 / 漆器職人)

賴信佑氏は台湾漆器「光山行」の3代目漆器職人。2019年に漆を用いたアクセサリーブランド「ANOUKS」を発表するなど、台湾漆を広めるべく「精力的」に活動を続けています。越前漆器の漆師・漆琳堂内田徹が聞き手となって、台湾漆の文化をたずねるトークを開催します。

TALK 06 古くて新しいものづくり

TALK 07 ものがたりのあるものづくり
「職人の想い」という新しい価値軸への挑戦

TALK 08 生き方を問い、見えること
-生き方見本市プロデューサーの集い-

TALK 09 うだつ上がる循環をつくる

TALK 10 D2Cという戦略

13日(日) 12:15-13:45
@うるしの里会館・和室
平野 養生 (石徹白洋品店 店主)

岐阜県郡上市、約110世帯が暮らす山奥の集落「石徹白」地区。ここで石徹白洋品店は、地域の人たちが手仕事仲間たちに支えられ、かつて誰もか着ていたという野良着「たつけ」の復活を試みています。そんな村で営まれる暮らしやしごとへの想いが詰まったトークです。

13日(日) 14:00-15:30
@うるしの里会館・和室
岩佐 彰利 (ライフスタイルアクセント / Factelier MD 統括)

「語れるもので、日々を豊かに」を掲げるファクトリエ。日本各地の工場と直接連携し、人に語りたくするような商品のみを作っています。ものづくりの伝え手としてトレンドや経済性だけでなく「職人の想い」という新しい価値軸を作ろうとしているファクトリエの挑戦や想いをたずねます。

14日(月) 10:30-12:00
@うるしの里会館・和室
藤本 遼 (KANSAI / 尼崎 ENGAWA 化計画)
緒方 康浩 (HOKURIKU / CERABO KUTANI)
大庭 周 (TOKYO / 繋がりにコーディネーター)

「さあ、生き方の話をしよう」。いま、生き方見本市の輪が全国に広がっています。多様性が広がるなか、どんな生き方も認めあえる地域や社会をつくるためには、一体何が必要でしょうか？ 取り組みなら見たらヒントを共有し、深めたいです。

14日(月) 12:15-13:45
@うるしの里会館・和室
高橋 利明 (TTA+A 高橋利明建築設計事務所 / うだつ上がる)

建築士でありながら、雑貨店「WEEKEND TAKAHASHI STORE」や、住まいが舞台のマーケット「Lifescape」など多様な試みを続ける高橋利明氏が、古民家を改装した複合施設「うだつ上がる」設立へのクラウドファンディングをスタート。そのキックオフトークを開催します。

14日(月) 14:00-15:30
@うるしの里会館・和室
山脇 理平 (EVERY DENIM 共同代表・兄)

岡山で生まれた「EVERY DENIM」。全国各地での販売を通じてファンを増やし、2019年9月には1,000万のクラウドファンディングに成功。初の拠点「DENIM HOSTEL float」をオープンしました。その生きかみ、ファンを増やしブランドを築く独自の戦略に触れます。

福井移住 EXPO

77イデューエキスポ

TALK01
産地の師弟トークセッション

日時・10月12日(土) 17:30-19:00
場所・PARK 鯖江市河和田町19-1-7
料金・参加無料

越前漆器に、越前筆筒。ものづくりの世界に飛び込んだ若者と師匠とのトークセッションを開催！数々の悩みを乗り越えてきた4人に、暮らしのこと、仕事のことなど、ものづくりのまじりのリアルな実情を尋ねてみましょう。また、弟子2人はどちらも移住者。移住までのいきさつや、家を見つける方法など、移住の気になるアレコレも、直接聞けるチャンスです。

内田 徹 (漆器職人)
嶋田 希望 (漆器職人)
小柳 範和 (小柳筆筒・筆筒職人)
若月 寛人 (小柳筆筒・筆筒職人)

TALK02
「産地合説2019」プレトークイベント

日時・10月12日(土) 19:20-20:50
場所・PARK 鯖江市河和田町19-1-7
料金・参加無料

来冬鯖江で開催する「産地合説2019」。そのプレイベントをRENEWで開催。越前漆器の工房、メガネの材料商社、産地のデザイン事務所。産地で採用を考えている経営者3名が集まりました。産地で働くには、どんな人が向いている？ 必要なスキルってあるの？ものづくりに関わって生きるおもしろさや難しさは？聞きたいこと、なんでも聞いてみてください。

土田 直東 (土産産物・漆器職人)
吉川 精一 (KISSO 代表取締役)
新山 直広 (TSUGI / デザイナー)

福井採用情報

ものづくりの現場で働くことに興味を持った方は、「JOINの頭文字「J」のマークを掲げる企業をチェック！」のマークは「人材募集中」を意味しています。募集の詳細については、お近くのスタッフに直接声を掛けてみてくださいね。

産地の合説

ものづくりを志す方、必見。12月21日-23日、採用を考えるRENEWのものづくりに関わる企業が集う産地合同企業説明会「産地合説2019」の開催が決定しました。産地ツアーやトークイベント、懇親会などを通じて産地の企業と出会い、互いを知り、未来への関係性を育む3日間だけの特別なプログラムです。詳細はWEBサイトよりご確認ください。

日時・12月21日(土)-12月23日(月)
場所・鯖江市/越前市/越前町

問合せ・info@renew-fukui.com
申込・RENEW公式WEBサイトよりご確認ください。

産地合説2019プレイベント

日時・11月1日(金) 19:00-21:00
場所・Hacoa VILLAGE TOKYO 2F 東京都中央区新川1-20-6

今年新たに東京にオープンした「Hacoa VILLAGE TOKYO」にて、ものづくりを志す方々へ向けて、産地での仕事や暮らしの魅力を伝えるプレイベントを実施します。産地内の企業・工房から実際の職人が訪れ、自らの言葉で語りかけます。東京の方々も、ぜひこの機会にRENEW産地の人と空気に触れてみてください。

GOOD DESIGN AWARD 2019

グッドデザイン賞2019 受賞記念トークイベント「RENEWのつくり方」

日時・10月13日(日) 15:45-17:15
場所・河和田コミュニケーションセンター

2015年に河和田地区で生まれたRENEWは昨年、出店社数100社・来場者数約3.8万人を記録。記念すべき5回目の今年、グッドデザイン賞を受賞しました。日本最大級の産業観光イベントに成長したRENEWですが、ビジョンの「持続可能な地域」への道のりは、まだまだ道半ば。そんなRENEWのいまを、これからについて、実行委員長・谷口康彦、ディレクター・新山直広、事務局長・森一貴が語ります。

参加費 2,000円

WORKSHOP

出展者の想いを直に聞きながら、全国各地のものづくりの技術を体感してみてください。



「オリジナルすなときお WS」
→ hickory03travelers
新潟市で作られているガラスの砂時計「すなときお」に好きな絵を描いたりテープを貼ったりして完成です。

10月11日(金)-14日(月) 10:00-17:00
● 約10分 ● 500円



「インテリア小物づくり」
→ CRAFTWORK Co.
廃材の木材や金物を使ったアクセサリー、小さな置物の製作ができます。写真の家のオブジェ付き。

10月11日(金)-13日(日) 10:00-17:00
● 約10分 ● 800円 / 人



「インディゴ染め体験」
→ EVERY DENIM
インディゴ染め体験は、気に入らなくなったり、汚れて着られなくなった服を「藍」色に染めて復活させ、もう一度「愛」してもらう取り組みです。

10月11日(金)-14日(月) 10:00-17:00
● 約20分 ● 2,000円 / 着 (染めたいアイテムをお持ち込みください)